

社協だより

第4号

福祉あさくち



表紙のことば

無理をしない介護

3月13日に浅口市介護者交流会が開催されました。介護者同士にしかわからない、泣いたり笑ったりの一時でした。写真はボール送りの場面。

社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

- | | | |
|-----------|----------------|-----------------|
| □ 本 所 | 浅口市鴨方町鴨方73 | TEL0865-44-7744 |
| □ 金 光 支 所 | 浅口市金光町占見新田751 | TEL0865-42-7308 |
| □ 寄 島 支 所 | 浅口市寄島町7540-5 | TEL0865-54-3317 |
| □ カニ丸の家 | 浅口市寄島町16089-17 | TEL0865-54-3113 |



広がるたすけあいの輪

『ご近所福祉 ネットワーク』 のスタート



◎一人の不幸も見逃さない「福祉コミュニティ」の創造へ◎

「ご近所福祉ネットワーク」とは??

浅口市社会福祉協議会では、地域の方々との協力により、高齢者の見守り活動を実施しています。この活動は、地域で生活する一人暮らし高齢者などの方で、地域とのかかわり、社会とのかかわりが希薄になっている方へ安否確認や孤立感の解消のために定期的に実施をするものです。

高齢になると外出するにも体が思うように動かなかったり、病気がちで寝ることが多くなったり、気分がすぐれずよその人との関わりがおっくうになったりし、家の中で閉じこもりがちな生活を送ることがあります。

そのような方々を地域で見守り、地域の一員として支えていくことで、住みなれた家・地域で安心して生活を送れるようにお互いにお手伝いをすることが、ご近所福祉ネットワークです。

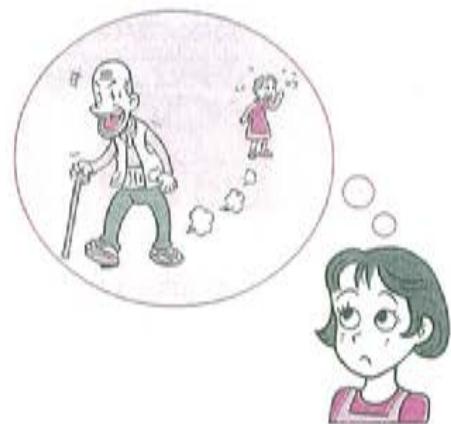
こんな人いませんか？



③子育てが不安
アパートに引っ越してきたKさんは核家族。はじめての子育てに相談する人もなくノイローゼぎみ。



①介護
85歳の夫を84歳の妻が夫は肺機能障害で在宅酸素の生活。妻は介護疲れで入院。

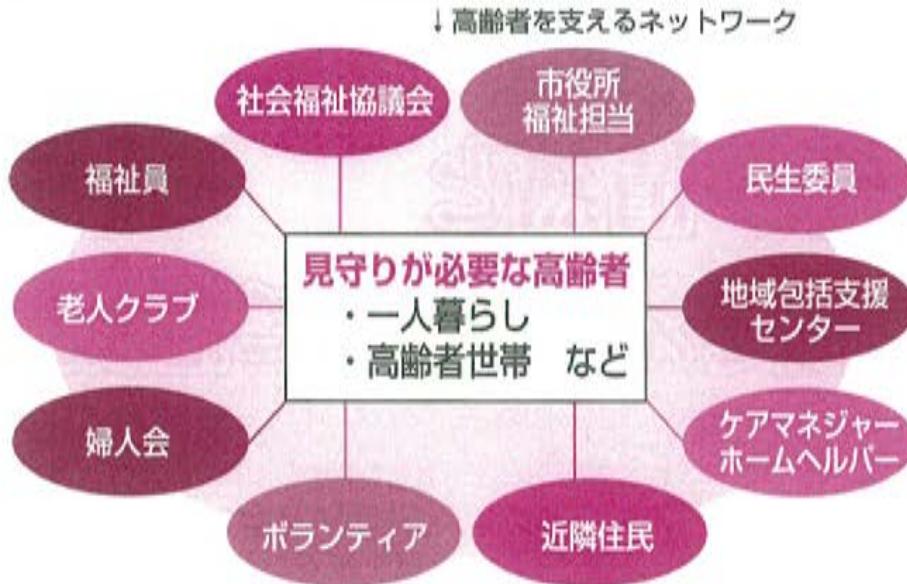


④お手伝いをしたいけれど言い出せない
認知症の母親を介護するCさん。わたしにできることがある。わたしにできないことがある。お手伝いしたいが、お節介



②屋間一人暮らしの孤独
Mさん(78歳)の家族は勤め為、日中は一人で留守番。Mさんは寝たり起きたりでこのままで寝起きに：

見守り活動のこれから



浅口市内では援助の必要な高齢者に対する見守り活動に様々な方が関わっています。市役所福祉課や地域包括支援センターなどの行政機関だけでなく、ケアマネジャーやホームヘルパーといった介護事業者、民生委員や福

祉員、老人クラブ、婦人会など各団体、ボランティアや近隣住民などもそれぞれ見守り活動として、安否確認や声かけ、話し相手などの活動をしています。社会福祉協議会では福祉のまちづくりの旗振り役として、地域の見守り活動「ご近所福祉ネットワーク」を重点事業として市内全

域で展開していきます。それぞれの実情に合わせ、鴨方町においては社協と福祉員・民生委員などとの連携により見守り活動を推進し、また金光町、寄島町においても現在活動している民生委員や老人クラブなどと連携を強め、また福祉員の設置を目指しながら地域で地域を支える見守り活動を今後も一緒に進めています。

この見守り活動は、援助の必要な高齢者でも孤立感・孤独感を感じることなく、いきいきと心豊かに生活を送れることを目標します。ひいてはこの活動が、近年希薄になりがちな地域を結びつけ直し、地域みんなでお互いに支えあい助け合える、思いやりの心あふれる地域づくりへつなげていくことができるのではないで

でしょうか。

〈金光町地区〉

老人クラブが「目くばり気くばり運動」として実施。

町内12地区の老人クラブ会員が、一人暮らしで見守りが必要な方の調査を実施し、訪問活動を行っている。

町内全域で500名の会員が150のチームを構成し、各地区で見守りの必要な方を近隣に住む会員がチームとして見守り声かけ活動を実施している。

〈鴨方町地区〉

鴨方町ではこれまで社協事業として安否確認を兼ねたヤクルト配布事業を実施。ヤクルトの無料配布を週1回行い、その配布の際に安否確認を行なうものであつた。合併によりヤクルト配布事業を中止し、地域主体の見守り活動へと形を変えていくこととなつた。

町内全地区に配置依頼した105名の福祉員が主体となり、民生委員の協力を受け「ご近所福祉ネットワーク」として担当地区内の一人暮らし高齢者、高齢者世帯などの見守りが必要な方を調査し、訪問活動を実施する。

〈寄島町地区〉

老人クラブが「目配りと愛の声かけ」活動として町内全地区で見守り活動を実施。30名の会員が各地区でチームを構成し、見守りが必要な方を対象者として調査し、訪問活動を行っている。

また、活動記録カードを作成し、見守りが必要な方の状況や活動を行った日などを記録として残している。

福祉映画会 石井のおとうさんありがとう

わたしが感じて、
思ったこと…

孤児救済への情熱と 石井を支える人々に感動

2月25日に金光・鴨方・寄島の3会場で福祉映画会「石井のおとうさんありがとう」が上映されました。岡山にゆかりのある石井十次の物語とあって、3会場合計600人を越える方に来場していただきました。子育てや教育問題が注目されている今、孤児の父といわれた石井十次の生き方に感動と共に感を得ることができました。

| 解説 |

石井十次と岡山孤児院石井十次は慶應元年1865年に宮崎県高鍋に生まれ、岡山医学学校に入学しました。医師の道を目指して、研修医として邑久郡上阿知村（現、岡山市）に赴任していました。貧しい母親から男児一人を預かったのが、孤児救済の第一歩でした。岡山市門田屋敷の三友寺の一角を借りて、孤児教会（後の岡山県孤児院）を起こします。萩原百平らの影響を受けてクリスチヤンとなり、児童福祉・教育の先進する決心を固め、医学書を焼き捨て、医学校を退学します。明治24年の濃尾地震、39年の東北地方の飢饉で孤児を救済し続け、施設の児童数は1200人にも達しました。当時は福祉ということばはない時代で、国からの支援は皆無でした。十次は、必死に募金を集め、一人の餓死者を出すことなく育てました。岡山孤児院の教育方針は、満腹主義・家族的雰囲気・職業訓練を実践し、現在の教育に通じないものでした。

豊かな今こそ十次の精神を
石井十次が言っていた「精神の孤児」という言葉が印象に残っています。経済的には豊かになつた（？）日本において、また少子化で子どもの数がどんどん減つています。経済的には豊かになつた（？）日本において、全国の児童養護施設はいつも超満員といわれています。つまり石井十次の頃も今も「精神の孤児」は多いということが理解というか、そういうものを持つ必要があると感じました。

（金光町・久戸瀬さん）



生命を削つて孤児救済
素晴らしい映画を上映して下さり有難うございました。石井十次の生き方そして後で支えてこられた奥様、映像で見てとてもよくわかりました。48才という若さで亡くなられ、真に自分の命を削りながら生きた、キリスト者だった事に心から感動しました。今回娘と一緒に観せて頂きましたが、若い方が少ないのが残念でした。

（寄島町・川崎さん）

豊かな今こそ十次の精神を

石井十次が言っていた「精神の孤児」という言葉が印象に残っています。経済的には豊かになつた（？）日本において、また少子化で子どもの数がどんどん減つています。経済的には豊かになつた（？）日本において、全国の児童養護施設はいつも超満員といわれています。つまり石井十次の頃も今も「精神の孤児」は多いということが理解というか、そういうものを持つ必要があると感じました。

—あらすじ—

ラジルの日系老人ホームで一人の老人が他界しました。「石井のおとうさんありがとうございます」と書いた写真を残して…老人の孫娘は、その写真の意味と自分のルーツを探して日本にやつてくる。宮崎の養護施設で祖母が育つた「岡山孤児院」のことを知る。そして施設で「お父さん」と慕われた石井十次の波瀬方丈の生涯と偉業の数々を知る。妻と一人ではじめた孤児院は、多くの理解者によつて物心両面支援を受ける。その一人が大原美術館で知られ、企業の社会貢献の元祖である大原孫三郎であつた。大原は岡山孤児院のために湯水のごとく資金援助した。石井は、岡山孤児院の移転計画を提案する。孤児のための理想郷を出身地の宮崎県の茶臼原に建築するというものであつた。大原は岡山孤児院の移転にも賛同協力する。しかし石井は48歳、志半ばで他界する。手を焼いて育てたことどもたちが成長し、勤いたお金を孤児院のために寄付してくれたお金をぎりしめ、「愛と炎の人生」を終えたのであつた。

涙があふれました。

始まつて少ししてもう涙が出て途中でも涙があふれてたびびそんな場面がありました。石井十次という人のことは、だいたい知つていましたが、映画で、本当に、日常の中で、変わつていく様子をみると、もつとよく理解できたように思いました。あんなに多くの子どもたちを預かるのは、本当に大変だと思つた。お母さんは、大変だったことでしょうが、子どもたちのやさしさ、けなげさに助けられて、やりとげられたことも多かつたでしょう。とても私なんかとうていまねできませんが、神様にお祈りすることや、教育の目標といふか、子ども達をどう育てていつたらよいかを十分によく考へている石井十次という人、みんなから「おとうさんお父さん」と呼ばれてしたわざる姿は、本当にすごいと思いました。当時の時代背景もあると思いますが、孤児があんなにたくさんいた。當時の時代背景もあると思いますが、孤児があんなにたくさんいた。當時の時代背景もあると思いますが、孤児があんなにたくさんいた。

すぐれた教育方針

映画の中に岡山孤児院の教育方針が出てきました。ひもじきから窃盜などの非行に走ることを実感し、腹一杯食べさせる「満腹主義」。人前で叱つたり体罰を戒めた「密室主義」。千人を超える規模であつても少人数で家庭的な生活をさせる「少人数寄宿」。社会に出たときのために徹底した「職業教育」。いずれも現在の教育に比べても遜色のないものです。改めて石井十次の先見性を感じました。

(鴨方町・Yさん)

石井十次をもつと顕彰しよう

孤児という不幸な子供達を指導し明るい世の中へと希望をつないで行かれた石井十次の偉業を私たちはつかり受けついでいかなければと思えます。当時の大原孫三郎や篤志家の方々の支援がどんなに勇気を与えてくださったかと…今私たちは余りにも幸せ過ぎているのではないでしようか。平和について眞の幸せを考えるべき時ではないでしょうか。岡山の誇れる石井十次の生涯をもつと子どもにも知らせて行ってほしいと思います。

大和証券福祉財団「ボランティア活動に関する助成」

市内の2団体へ助成をいただきました。
ありがとうございました。

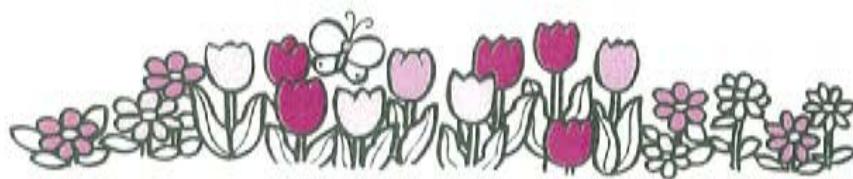
・人形劇サークル 風の子

ブラックファンタジー
「もちもちの木」制作費等

・鴨方町母子寡婦会

ふれあいキャンプ(野外活動)の経費





平成19年度 事業実施計画

社協のしと

浅口市誕生から一年、市民の一体感の早期醸成と誰もが安心して暮らしていく福のまちづくりの環境整備が一層求められています。また、福祉制度は介護保険制度の改正、障害者自立支援法が施行され利用者の“自立”をより重視した福祉サービスへの転換が進められています。

今こそ、社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な役割を担う団体として、市民の福祉一下子に立脚した社会福祉事業の展開や住民参加による地域福祉活動の推進はもとより、早期に地区社協の立ち上げを図って福祉サービスを必要とする人々が社会から疎外されることなく、地域の方々と共に生きていける福のまちづくりを推進する必要があります。

浅口市社会福祉協議会は、高齢者・障害者・児童等の安心・安全な生活環境の確保など福祉課題に積極的に取り組み、“健康で幸せな暮らしの実現”に向けて努力を傾注するものとします。

- ① 社協会員（個人会員・賛助会員）加入促進
- ② 福祉員を核としたご近所福祉ネットワークの推進
- ③ 本所支所の連携強化
- ④ 職員の専門性・資質向上のため研修
- ⑤ 行政及び民生児童委員協議会との連携強化
- ⑥ 老人福祉活動推進
- ⑦ 高齢者スポーツ活動の推進
- ⑧ 家族介護者交流事業の実施
- ⑨ 日常生活用具の貸出と斡旋事業
- ⑩ 保健・福祉関係機関の連携強化
- ⑪ 高齢者生活支援（各種助成事業）の推進



「笑いがたえないふれあいサロン」

1. 社協基盤の整備、強化

3. 福祉教育の推進と意識啓発活動

- ① 社協大会の開催
- ② 社協だよりの発行
- ③ 先進地社協視察研修
- ④ 地域福祉座談会の実施
- ⑤ 福祉大会の開催
- ⑥ 社協だよりの発行
- ⑦ 先進地社協視察研修
- ⑧ 地域福祉座談会の実施

4. 心身障害者福祉活動の推進

- ① 自立支援法の関連事業の実施
- ② 心身障害者福祉協会への支援
- ③ 障害児支援事業（扶養共済助成等）の実施
- ④ 手話・要約筆記・点字等、障害者の自立と社会参加を促すボランティア育成



→やさしさをそえて「給食サービス事業」
充実

←保育園での夏のボランティア体験



6. ボランティア活動の普及促進

- ① ボランティアセンター事業運営の充実



→高齢者の交通教室

8. 財源確保

- ② ボランティア連絡協議会の運営と機能強化
- ③ ボランティア講座の開催
- ④ ボランティア保険加入促進
- ⑤ ボランティア活動推進機材の整備
- ⑥ 福祉協力校への助成
- ⑦ ボランティア及びNPO団体への支援と連携強化
- ⑧ 災害時福祉援助活動の充実
- ① 社協会員の増強啓発
- ② 赤い羽根共同募金歳末たすけあい募金運動の推進
- ③ 地域福祉活動基金の有効管理

7. 一般社会福祉活動の推進

- ① 福祉団体（遺族会、母子会等）助成事業の実施
- ② 心配ごと相談及び各種相談事業の実施
- ③ 生活福祉資金貸付相談、及び貸付世帯の自立指導
- ④ 高額療養費貸付事業の実施
- ⑤ 地域福祉権利擁護事業・成年後見制度の普及促進
- ⑥ 福祉啓発（講演会、セミナー等）活動推進
- ⑦ 福祉用具貸出事業の実施
- ⑧ 福祉車輛貸出事業の実施

5. 児童福祉活動の推進

- ① 子育て支援事業（子育てサロン等）の支援
- ② 福祉教育支援事業（総合学習との連携活動等）の推進

6. ボランティア活動の普及促進

◇ボランティア研修会報告◇

ボランティアの連携で 豊かな湊口市へ

出会い・やりがい・自己成長・ボランティア醍醐味

発表者(講師)

岡山県社会福祉協議会

ボランティアNPO活動支援センター

津山市ボランティア交流会

山下 泰三氏
池町 照美氏



3月8日、寄島のふれあい交流館サンパレアにおいてボランティア研修会を開催しました。岡山県社協の山下泰三さん、津山市ボランティア交流会の池町照美さんを講師としてお招きし、ボランティア団体の連携と交流の重要性を勉強しました。

特に共助の取り組みは、これから福
祉において、更に強め、高めあっていく
必要性から地域住民が共に支えあうと
いう点でボランティア力の必要が広が
りを見せていました。

ボランティア連携が必要な理由

県内で活動をしているボランティア
団体約1000団体が、県内29市町村の
社会福祉協議会に登録され、ボランテ
ィア人口は団体や個人を含め約3万人



社協とボランティアは一体
私は、要約筆記のボランティアをして
いますが、障害者との交流を深め
る為に社協から助成金をもらい年2
回事業を行っています。社協とボラン
ティアは一体となり、二本のレール
となつて社協が仕事を、しやすく、ま
たボランティアが活動をしやすいよ
うにお互いに協力し合つていく事で
前進があるよう思います。

地域での活動は異なっていても、お互
いの活動の時間の上に新たな計画を
進めていき地域の為に切磋琢磨して
いくことで向上していくと思います。

今何故ボランティアなのか

誰もが住み慣れた地域で安心して、豊
かに暮らしていくよう、様々な社会の
問題に対応していく為に、自助(本人・家
族の自助努力)、公助(既存の福祉制度、
サービス)、共助(地域住民の支えあい)
の3つの協働活動の中でどの部分も欠
けることの無いように進めていく必要
がある。

連協の具体的な活動について

- 1・交流の場づくり
- 2・情報交換の場づくり
- 3・研修の場づくり
- 4・学習の場づくり

参加者の声

合併で活動の充実を

地域の中での活動を基に、これからはもっと視野を広げていくことも大切だと感じました。合併を大きなチャンスとして現状より濃い活動が出来るよう、今日の研修会を参考にして今後の活動の参考にしたいと思います。

(寄島・高齢者関係の活動)

旧3町の食事サービスの情報交換を

食事サービスのボランティアをしていましたが、今日のお話を聞いて3町の同じ活動をしているボランティア同士の交流や情報交換の大切さを感じ、3町のボランティアが交流できる機会を作つて下さる社協の重要性も認識しました。小さなグループ同士の交流が同じ思いで繋がった活動になり、地域一体となつたよいものが作れるように思います。

(金光・高齢者関係の活動)

ボラ連協で活性化

市連協が出来ると新しい仕事が増えるのでは、とも思いますが、連絡協議会があることは活動団体にとってはとても力になることだと思います。

(鴨方・障害者関係の活動)

自らの問題として

地域福祉の関係を一人一人が自分の事として考えていく、それについて話し合う事により小さな組織が大きな組織にと広がつてゆくと思います。今日のような機会、場を拡げて行く事でボランティアへの関心も強まつてゆくと感じました。

(鴨方・地域関係の活動)

交流を広げよう

津山市のボランティア活動の現状をお聞きして、私たちも3町のこれから活動について話し合いの機会を十分に作りボランティア同士の交流の輪を広げていく必要があるんだと感じました。

(寄島・高齢者関係の活動)



「おたのしみグッズ」貸し出します

子ども会・町内会・ふれあいサロンなど各種つどいに活用できる「お楽しみグッズ」を貸し出しております。

輪投げ、オセロ、
ストラックアウト、
バーチャルゴルフゲーム、
スカットボール



わた菓子
製造機



ポップコーン
製造機



浅口市の福祉ボランティアを紹介します

《金光地区》

◎一人暮らしの弁当ボランティア 菜の花

【活動内容】

月一度、一人暮らしの方へ弁当を作り配布している。

夕方配布しますので10時頃から5人～6人で準備をします。昼からその他の人達が集まって料理をします。夕方4時頃、配布の人が取りにきて下さいます。

◎金光町 ヘルスボランティアの会

【活動内容】

①町内福祉施設にてシーツ交換・清掃、運動会等イベントに参加している。

②友愛訪問
(一人暮らしの高齢者対象)
〔活動先〕あお空

③一人暮らし弁当配布の協力
ふれあいサロンの協力
たんぽぽまつりへの協力

◎ボランティア しゃばん玉

【活動内容】

- ・ボランティアセンター「ふれあい喫茶」の開催
- ・「たんぽぽまつり」の協賛



趣味を生かして絵てがみボランティア

・寿光園のイベントの手伝い
・福祉施設の依頼によるボランティア他

《鴨方地区》

◎地域ボランティア たんぽぽの会

【活動内容】

会員18名で活動しています。独居老人の方々に年賀状や、お花を握って訪問したり、ふれあい会などしております。地域のサロモン活動では、高齢者の方と、陶芸、手芸、折紙、絵手紙、リズム体操、ゲーム、お誕生日プレゼントなどしています。

◎鴨方西地域ボランティア 桃の花

【活動内容】

①ふれあいサロン
(花見、手芸、生花、季節の行事、健康の話、カラオケ)

②年賀状
土井谷地区(毎月20日)

柏部、大内、町小路、犬飼

③一人暮らしの方訪問

④町内の施設入所者訪問

⑤研修会参加



◎サンバレス桃花

【活動内容】

シーツ交換、ボタン付け、ゴムの入れ替え、ホコロビの直し

◎六条院地区ボランティア コスモス

【活動内容】

- ①高齢者とのふれあい活動
(年2回の友愛訪問)
- ②手作り、絵手紙による年賀状、署中見舞による交流
- ③地域ふれあいサロンによる援助活動
- ④ストーブ、扇風機出し入れ、お運びボランティア

◎食事ボランティア えぶろん

【活動内容】

65歳以上の虚弱な方や高齢者世帯を対象にボランティアによる手作りのお弁当を月4回の昼食用として配達もしています。

◎虹の会

【活動内容】

オペラ シーツ交換
第1月曜日・第4月曜日

AM9:30～11:00

喫茶	第1～第4木曜日・第1～第4金曜日
AM10:00～12:00	

浅口市の福祉ボランティアを紹介します



手作りの大型かみしばい

○ボランティア人形劇サークル 風の子

【活動内容】

人形劇やブラックファンタジー・大型紙芝居等で、青少年の健全育成と、子育て支援や高齢者との交流を図る。

OHCを使用したもの）ノート
テイク（個人利用）
福祉映画会の字幕付け

○浅口手話サークル 青い鳥

【活動内容】

・聴覚障害者、社会福祉協議会

手話サークル関連の研修、行事への協力・参加

・市内、近隣への出前福祉講座

・手話技術の養成

○点字ボランティア 点とうむし

【活動内容】

・小中学校への出前福祉

・広報誌等の点認

・手話技術の養成

○鴨方はるか会

【活動内容】

①視覚障害者の方に音訳テープにより情報提供をする

②視覚障害者・支援者・会員との交流会開催

○福社絵てがみ 鴨めーる

【活動内容】

弁当の掛け紙・年賀状・署中見

舞状・カルタ作り

・手話技術の養成

○陶芸ボランティア ベル

【活動内容】

・手話技術の養成

○おはなしボランティア にじの会

【活動内容】

図書館、幼稚園、小学校等での繪

本の読み聞かせを中心とした文

化活動。

・手話技術の養成

○ホーフ

【活動内容】

所生さん方と屋内外の作業と共にしたり、社会生活学習の時間に料理を共にしたりして交流を深めています。

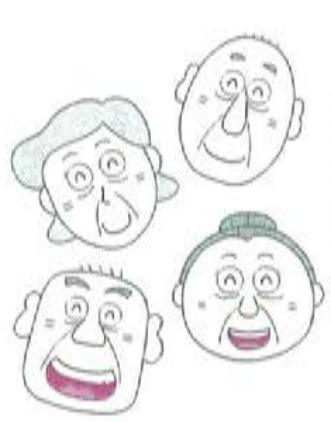
・手話技術の養成

○鴨つ子童懸クラブ

【活動内容】

幼稚園、母子クラブ、老健、等で季節の童謡、唱歌を一緒に歌っています。

・手話技術の養成



○収集ボランティア ベル

【活動内容】

AM 10:00 ~ 12:00
第1金曜日

・手話技術の養成

ベルマーク、古切手、ロータスク
ーパン、チレホンカード、書損じ
ハガキ等を収集分類し、各々の
用途で活用

・手話技術の養成

○寄島地区

○寄島町ガザミの会

【活動内容】

70才以上の独居老人、高齢者世帯を対象にバランスのとれた食事を提供しています。
(1ヶ月に2回の活動)

浅口市の福祉ボランティアを紹介します

○柴木うめぼし会

【活動内容】

春秋2回で計16回 80歳以上の老人を集め、柴里1座を結成し、唄つて踊つて劇をして、皆さんに楽しんで貰った後、座員一同の手作りの真心のこもつた御馳走を振る舞い満足して帰つて頂きました。

○みつやまクリーンクラブ

【活動内容】

- ・海岸の清掃及び西防波堤の清掃を月1回行なつている。
- ・小学校との交流

○子育てサロン なかよしひろば

【活動内容】

毎月第3金曜日 東地区 ふれあいセンター

第4水曜日 西地区 老人センター2階で親子、祖母と孫で参加しAM9時30分～11時30分まで

自由に遊具で遊び、お茶を楽しみ、ボランティアの人、親同士で話も楽しんでいます。

○介助ボランティア たんぽぽの会

【活動内容】

- ・車イス体験(小学生、中学生、一般の人)
- ・施設での各種イベントのお手伝い

○コスモスの会

【活動内容】

寄島支所の北西の一角を草とりして四季の草花を育てる。

○園芸 すみれ会

【活動内容】

東公民館、周辺の草取り、プランターに花を植えたり、押し木をして育てています。

○三ツ山 鐘太鼓

【活動内容】

小学生と一緒に「カニ丸の家」「いるかの家」を春休み、夏休み、冬休みを利用して交流会開催。



中学校での点字の指導

「朝食を食べよう」

「朝食を食べましたか?」「朝食を毎朝食べていますか?」事業や教室の最初に私が聞く質問です。

健康おかやま21セカンドステージ中で朝食を

食べている人の割合が学童期は91.2%、15歳は58.0%、20歳代の男性は43.6%、30歳代の男性は47.7%で、欠食している状況が見えます。

朝食は1日の活動をスタートするためへの大切な食事です。食事を3回とることで、生活リズムが行き、元気いっぱいで暮らせます。朝食を食べれば脳の働きが活発になり、集中力もアップ、また体の調子も整って便通がよくなり、気分も落ち着きます。

朝食を毎日とることで「子どもは食に関心をもち」、「大人は生活習慣病予防に」、「高齢者は低栄養予防につながります」。

まずは早寝・早起きで、すつきり自覚め、朝食をおいしく食べてみませんか。





今年の3月1日で満90歳になりました。よそに住んでいる娘と孫が、100まで頑張ってと綺麗なランの鉢を贈ってくれましてなあ、覚えていてくれたのがほんまに嬉しかったですよ。

若い頃は？……

娘の時分は田んぼや畠なんかの手伝いをしょうりました。今の鴨方中学校が出来る前は、あの辺りにうちの畠もあったんです。桃を作っとったんですが、親の代わりに私が共選場に桃を持って行くと、当時は桃を木箱に入れとったんで、重くて難儀しました。男の人に混じってよう手伝いしました。

昔は天草池も1里くらいの広さがあって、たくさんの蓮の花が咲いたんですけど、舟に乗ってそれを切りに行ったりもしましたなあ。花売りも当時はこの周りにはようけえおりました。金光にいるいとこの誘いで帽子作りの手伝いを行っていた時分もあります。あの頃は世の中が不景気でしたけど、みんなよう働きょうりました。

現在の楽しみは？……

憩いの間に行くのを楽しみにしつります。近頃は出かけるのも大変じゃけど、家にばっかりいてもいけませんしなあ。月にいっぺんぐらいは出て行きょうります。この間管理人の井上さんに「花野さんとは20年の付き合いになるなあ」って言われまして、もうそんなに通っているんかなあって思いました。そこで手芸を習って帰って、うちでもいろいろ作ってみたりするんです。5円玉を使って五重の塔を作ったり、折り紙でバラを折ったり、タバコの空き箱を使って鼓を作ったり…。細かいことするんは時間もかかるし疲れるけど楽しいですよ。貝殻で作ったおひなさまは、もう10年くらい前憩いの間のみんなと、与島に行った時に買ったハマグリを使って作ったんです。こんなに大きなハマグリはこの辺じゃなかなか手に入らんもんなあ。

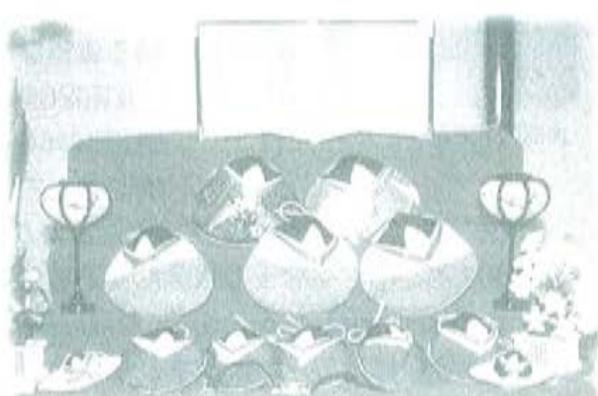
日課にしていることは？……

朝は黒住さまに祝詞をあげて、夕方水戸黄門を見た後に仏壇に手を合わせることでしょうなあ。実家の近所に黒住様があるんですけど、若い頃はよくお参りに行つてたんでその頃の習慣が残ってるんでしょうな。

元気の秘訣は？……

食べることですかなあ。100まで生きにゃいけませんからなあ。

90にもなって近頃は物忘れもひどうなりましたけど、みなさん「手芸で手先をよう使うからしゃんとしとる」と言ってくれます。



介護手当の支給について

浅口市社会福祉協議会では要介護者・障害者を介護している方に対し、在宅介護の苦労をねぎらう目的で介護手当の支給事業を実施しています。介護手当の支給要件は左記の通りです。

対象者

浅口市内に在住し、在宅で次の①・②を介護されている方で世帯の市民税所得割がかからない方

①要介護4・5の認定を受けられた方

②障害者(身障手帳・療育手帳・精神手帳を保持されている方)

※障害者の方は民生委員・保健師もしくは医療機関の証明がある日常生活動作状況票の提出が必要となります。

手当支給額 月額5000円

申請時期 毎年十月一日より申請を受け付けます。

対象期間 申請前年十月より当年九月まで

※ただし、平成十九年度におきましては平成十九年四月から九月までを対象期間とします。

必要書類

・介護手当申請書

・所得証明書もしくは市民税通知書の写し

・要介護者は要介護者認定の写し。若しくは介護保険証の写し

・障害者は日常生活動作状況票(民生委員・保健師・医療機関などの証明があるもの)

その他要件

在宅で介護されている方を対象としていますので入院・入所等されている方にはお支払いできません。ただし、対象期間の中途中で入院・入所された場合は入院・入所期間を除いた期間を月額でお支払いします。

浅口市社会福祉協議会 鴨方本所 金光支所 寄島支所
TEL(44)7744 TEL(42)73308 TEL(54)3317



大楠の下で話す老人クラブ員

浅口探訪② 老人クラブが訪ねる「安倉八幡の大楠」

高妻新和会(三宅松男会長、会員71人)

安倉八幡の神社参道の石鳥居の脇に聳える県下最大級の楠の巨樹がある。じゅうゆ齡は600余年になり、周囲5.2m地上根周9.2m、高さ20mで地上から4mのところで三枝にわかれ、東西20m、南北23mに枝を張っている。天保10年(1839年)にこの付近は干拓され鳴瀬新開となるが、楠は当時の海岸線を物語る貴重な記念物である。

昭和26年に県の指定天然記念物になったが、条例改正により昭和34年に指定失効となり、現在では浅口市の指定天然記念物になっている。

「旅先でもここまで大きな樹はみたことがない」(三宅松男さん)「昔はもっと大きかったが台風災害などで小さくなってしまった」(岡辺公明さん)との話。

最近は、道路の舗装、住宅の密集、台風の影響により樹は縮小してきているが、楠は600年間、安倉を見守り続けてきた御神木として今でも地域の人達に大切にされている。

篤志御礼

(平成十九年二月二十八日まで)
ご寄付ありがとうございました。
地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

◎金光町

- 田中 透さん(上竹)より
亡母 優子さんの香典返し
- 西山英二さん(上竹)より
亡父 英夫さんの香典返し
- 瀬良清志さん(上竹)より
亡父 貞雄さんの香典返し
- 杉野恒也さん(古見)より
亡母 千代子さんの香典返し
- 久戸瀬邦夫さん(古見新田)より
亡父 祝三さんの香典返し
- 渡辺憲章さん(古見)より
亡母 方子さんの香典返し
- 青木春雄さん(須恵)より
亡母 菊恵さんの香典返し
- 尾崎秀夫さん(古見新田)より
亡父 晴雪さんの香典返し
- 横山淳二さん(大谷)より
亡母 松代さんの香典返し
- 鍋谷房子さん(古見新田)より
亡夫 新一さんの香典返し

◎鴨方町

- 坂本三郎さん(古見新田)より
一般寄付
- 亀高雅行さん(六条院中)より
亡母 静さんの香典返し
- 秋田範雄さん(益坂)より
亡母 政子さんの香典返し
- 横山勝之さん(六条院中)より
亡妻 豊子さんの香典返し
- 黒川欣哉さん(六条院西)より
亡母 雪子さんの香典返し
- 今井岸夫さん(益坂)より
亡父 博一さんの香典返し
- 城山節雄さん(小坂東)より一般寄付
- トレジャーショップなでしこサークル
より一般寄付(売上金の一部として)
- (社)浅口市シルバーハウスセンター
互助会より一般寄付
(浅口まつり売上の一部として)

◎寄島町

- 小林保一さん(六条院中)より
亡妻 寿枝さんの香典返し
一般寄付
(クリスマス献金の一部として)
- 山明信行さん(小坂西)より
亡子 政行さんの香典返し
(ふれあい祭りバザー売上金として)
- 平方大三さん(東安倉)より
亡父 役一さんの満中陰志
- 高本透さん(六条院西)より
亡母 八重子さんの香典返し
- 山下和子さん(六条院西)より
亡夫 五一さんの香典返し
- 畠山キヌエさん(深田)より
亡父 古春さんの香典返し
- 今城 豊さん(鴨方)より
亡父 憲之さんの香典返し
- 筒井由紀子さん(本庄)より
亡夫 康道さんの満中陰志
- 中浜 秀さん(国頭)より
亡母 千代さんの満中陰志
- 秋田森三さん(柴木)より
亡父 光岡さんの香典返し
村上正樹さん(中新開)より
亡父 喬さんの満中陰志
- 秋田森三さん(柴木)より
亡父 光岡さんの香典返し
- 中浜 秀さん(国頭)より
亡母 千代さんの満中陰志
- 高沢累子さん(中安倉)より
亡夫 勝秀さんの香典返し
- 岡本政樹さん(中安倉)より
亡父 勝一さんの香典返し
- 応本八重さん(東安倉)より
亡母 松枝さんの香典返し
- 岡城富美恵さん(福井)より
亡父 孝道さんの香典返し
- 吉澤雍彦さん(福井)より
亡母 定子さんの香典返し
- 小川暎興さん(大浦)より
亡妻 恵美さんの満中陰志

福あさ
4コマ劇場



介護者の会へ 来てみませんか

- ・老人介護の方法はこれでいいの?
- ・将来の不安やストレスがいっぱい…
- ・福祉サービスや制度が
わからぬ…
- ・認知症状はどう
対応したらいいの…



- ・同じ立場の分り合える
仲間が欲しい…
- ・趣味活動やおしゃべりで
気分転換を…

◆金光地区 不定期に介護者のつどい開催

◆鴨方地区 月1回中旬に定例会開催

◆寄島地区 原則第3水曜日定例会開催

*詳しくは、お近くの社会福祉協議会本所支所にお尋ねください。

中古シルバーカー仲介システム

**シルバーカー
中古車・新古車
ゆずってください**

そして
必要な方へ

・ **あゆずりします。**



*詳しくは、お近くの
社会福祉協議会
本所支所にお尋
ねください。

◆前回のじたえ
ねんがじょうでした。

5月
20日

消印有効

店舗方法

高齢の方やご家族の方の
ために「のんびり」と「ゆったり」の
運営を目指す
施設の中から加算で3名に認定されています。

う
イズ
探し
並
び

今号の紙面に□で文字をかこんだ箇所が7か所あ
ります。この□文字をなぞりかえて、言葉をつくつ
て下さい。

編集後記

暖冬のためサクラの開花もずいぶん戻ったよう
です。気象台の開花予報もデータの入力ミスで修正。
コンピューターや機械に依存した社会への警鐘。他
山の石として戒めたいと思います。(土)